

コンテンツ流通技術

選 択

開講年次：4年次前期

科目区分：講義 + 演習

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：ラジオ、ポッドキャスト、テレビ、ストリーミングなど、コンテンツの放送配信のためのフォーマットを検証しながら、インターネット、デジタルメディアの特性、コンテンツ流通モデルのマネジメントといった、情報配信に関する基本的知識を学びます。また、商用／非商用の相違、コンテンツ配信の権利、著作権やクリエイティブコモンズライセンスといった、映像メディア配信を行なう際に特有のキーワードについても理解します。具体的な配信プロジェクトの構築を通じて、コンテンツの受け手との関係構築マネジメントなどについても学びます。

■**到達目標**：①デジタルメディア時代のコンテンツ流通の複雑さを分析できるようになること。
②UGC（User Generated Content）の趨勢や、コンテンツの受け手との関係構築マネジメント(CRM)など、コンテンツの流通ネットワークの状況について理解を深める。
③多様化した配信方法に必要な技術・機材等の基礎知識の習得を目指す。
④本講義で学んだクリエイティブ分野において、自分の得意な専門スキルを見つける。

■**担当教員**：

石田 勝也

■**授業計画・内容**：

- 第1回 様々なメディアにおける配信事例の紹介とその意義の考察1
- 第2回 様々なメディアにおける配信事例の紹介とその意義の考察2
- 第3回 様々なメディアにおける配信事例の紹介とその意義の考察3
- 第4回 配信技術機器等、使用機材の紹介
- 第5回 事前調査とプロジェクト立案1
- 第6回 事前調査とプロジェクト立案2
- 第7回 プロジェクト企画発表
- 第8回 素材準備、配信スタジオ等の設置計画1
- 第9回 素材準備、配信スタジオ等の設置計画2
- 第10回 素材準備、配信スタジオ等の設置計画3
- 第11回 プロジェクト進捗状況についてのプレゼンテーション
- 第12回 素材準備、配信スタジオ等の設置計画2
- 第13回 課題発表1
- 第14回 課題発表2
- 第15回 最終講評

■**教科書**：なし

■**参考文献**：授業時に適宜配布

■**成績評価基準と方法**：課題、プレゼンテーション、授業態度により総合的に評価します

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度			○	積極的な姿勢。	10
発表			◎	独創性と再現性	30
課題・作品		◎	◎	完成度	60
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：放送メディアデザイン、メディア芸術論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：コンテンツを配信する際の技術はメディアの特性をいかに理解し、その特性を踏まえたコンテンツの企画制作を行うかが重要です。本講義ではコンテンツ制作だけではなく最終アウトプットに必要な機材や技術等の知識の習得も行います。